

本人支援	言語 コミュニケーション	(a) 言語の形成と活用 (b) 言語の受容及び表出 (c) コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d) コミュニケーション手段の選択と活用	(a) 言語の形成と活用 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 (b) 受容言語と表出言語の支援 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し、表出する支援を行なう。 (c) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 (d) 指差し、身振り、サイン等の活用 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 (e) 読み書き能力の向上のための支援 発達障害のお子さまなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 (f) コミュニケーション機器の活用 各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。	お子さまの興味や発達段階に合わせて、職員が意図を理解し応答しながら、遊びややりとりを通じて人への関心を広げます。 表情やジェスチャー、視線などを使ったコミュニケーションを支援し、実際にものを見たり触れたりしながらことばの理解を深めます。 歌やリズム、ゲームを通じて楽しくことばを学べる環境を提供し、日常会話や活動で新しいことばや概念を学ぶ機会をつくります。また、「貸して」「いっしょに遊ぼう」などのやりとりを練習する場を設け、職員が見本を示しながら支援します。 ・興味関心のある教材を使用し、職員とのコミュニケーションや会話を広げながら、課題に取り組む機会を増やす。 ・遊びや日常会話を通して語彙の獲得を増やし、人との関わり方や話を聞く態度を知る。 ・個々の特性に応じた勉強方法を提示し、楽しく行える様に支援する。		
	人間関係 社会性	(a) 他者との関わり（人間関係）の形成 (b) 自己の理解と行動の調整 (c) 仲間づくりと集団への参加	(a) アタッチメント（愛着行動）の形成 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行なう。 (b) 模倣行動の支援 遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。 (c) 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 感覚機能を使った遊びや運動機能を動かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 (d) 一人遊びから協同遊びへの支援 周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 (e) 自己の理解とコントロールのための支援 大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 (f) 集団への参加への支援 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。	事前に視覚的な手掛かりを使って丁寧に説明し、お子さまが安心して集団活動に参加できるよう支援します。 少人数での体操やゲームなどの活動を通じて、社会性の向上を促します。またお子さまが自分や他人の感情を理解し、適切に表現できるよう、職員がモデルを示します。 グループでの協力やコミュニケーションを促す活動を通じて、他者との関わりや協力の重要性を学び、社会的スキルを育てます。 お友達との遊びの場面では、職員が関わりながら同じ遊びに興味を持たせ、人との交流を楽しめるようサポートします。 ごっこ遊びや共同遊びを通じて、社会性を育む機会を提供し、職員が遊びに参加しながら行動やことばのモデルを示します。 ・活動や遊びを通して、自分の意見や考えを相手に伝えたり、相手の気持ちを聞いて考える。 ・状況と自分の気持ちが異なる場合、思いに寄り添いながら気持ちの折り合いがつけられる様にする。 ・話し合いをする活動を取り入れ、仲間意識や集団意識の形成をはかる。		
家族支援		・ 集団活動や個別療育（お勉強タイム）にて行った活動の内容を送迎時(お迎え時)や、写真付きでサービス提供記録にてお伝えします。 ・ 6ヶ月に1回程度、モニタリングとは別で面談の機会を設け、保護者に共有していきます。 ・ 希望があれば個別療育の観察機会を作り、保護者に対して支援のポイントや関わり方のフィードバックを行います。		移行支援	・ 必要に応じて小学校に訪問し、児童との関わり方について情報共有、支援方針を計画します。 ・ 事業所での様子を他事業所や相談支援に対し、訪問、電話等で伝え、日々の様子の情報交換を行います。 ・ 小学校への訪問時、先生と小学校での様子や事業所での過ごし方について情報共有を行います。	
地域支援・地域連携		・ 関係機関で役割分担し、情報共有を行います。 ・ 連携会議を定期的に開催し、情報収集・役割分担に関して協議します。 ・ 各関係機関の情報を基に、具体的な場面での関わり方や、困りごとに関する提案やポイントを共有します。 ・ セルフプランの方には利用計画のコーディネートの中核を担う事業所の開催する会議に参画し、情報共有を行います。		職員の質の向上	プロッサムグループ本部にて下記研修実施 ・ スタッフ研修 ・ 専門職員によるスキルアップ研修 ・ 虐待防止研修 ・ 身体拘束適正化研修 ・ 感染症対策研修 その他 ・ プロッサムジュニアスーパーバイザーとの会議 ・ 職員会議 ・ 職員にて事例検討会（教室内）	
主な行事等		・ 季節の行事 ・ 近隣施設や公園への外出活動				